

転生

した

悪役令嬢は

どうしても

逃げられない

1

転生した

悪役令嬢は

どうしても

逃げられない



—なんだろう？—



熱くて
しょうがない

キユヰ



はあ

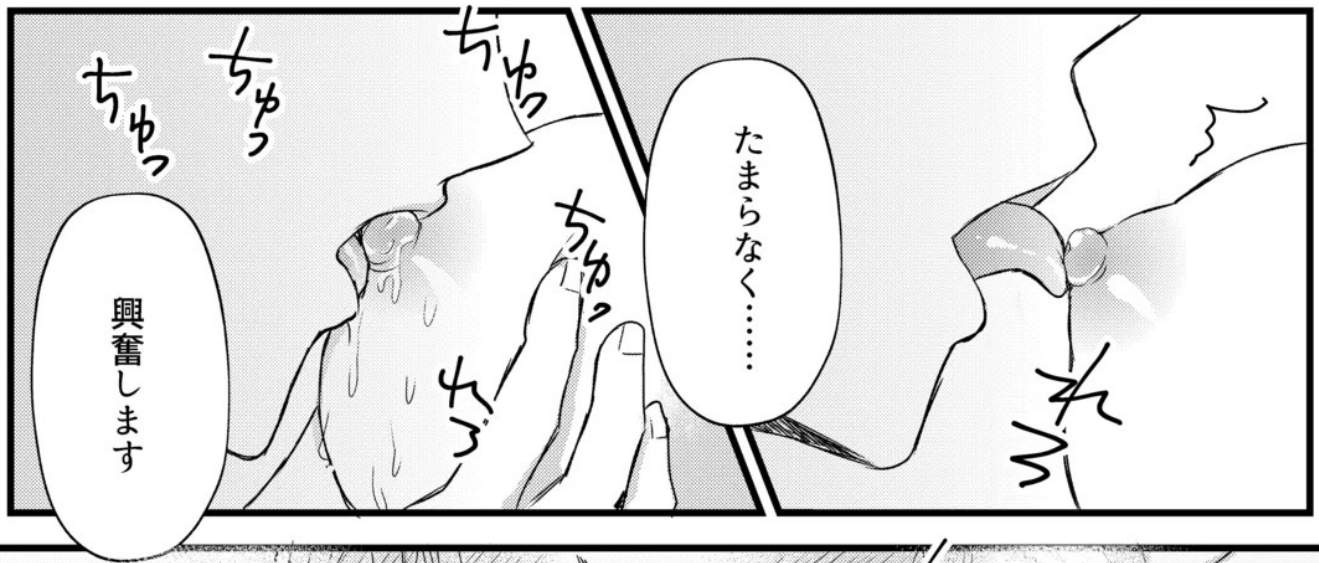
さっきから身体が

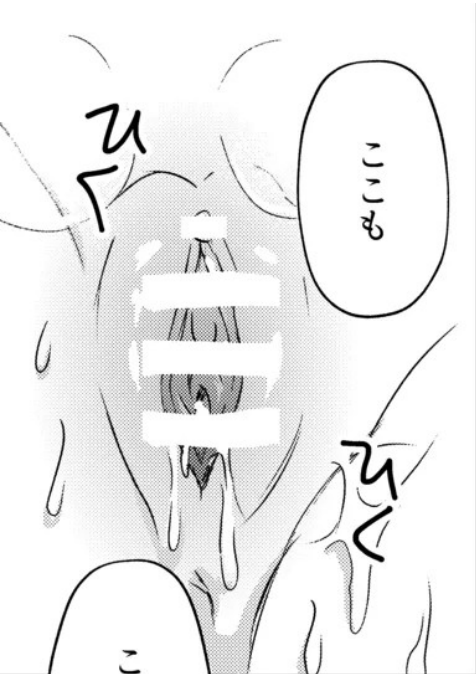
はあ

キユヰ



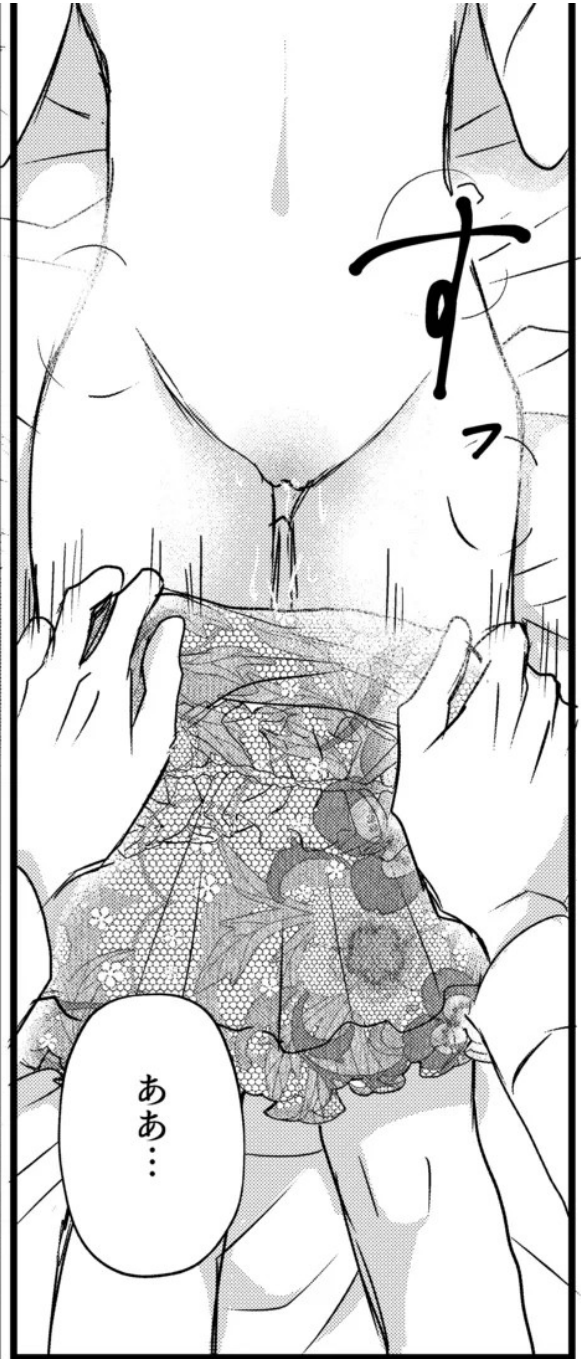
ひゅん





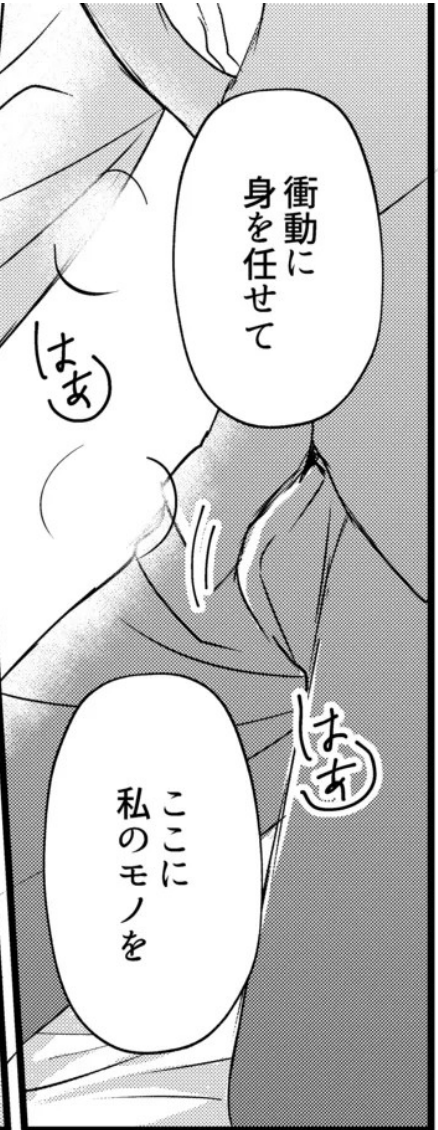
ひひひ

こんなに濡れて



とても可愛らしい





衝動に身を任せて

ここに私のモノを

挿れられたらどんなにいいか...



シルヴィア様っ

シルヴィア様

シルヴィア——？



申し訳
ございません

どうして
君はこんなことも
できないんだ!!

私は確か…



はあ…
疲れた



仕事帰りに

あつ
更新来てる!!



危ない

続き
気になってたん
だよ

赤信号を渡って

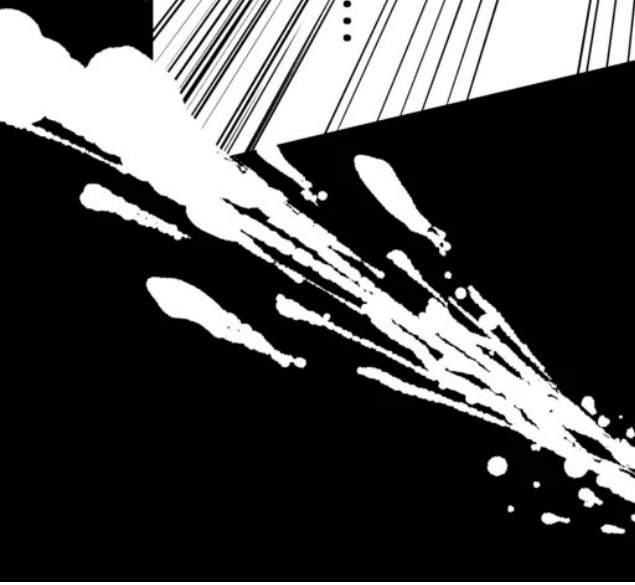
え？

アツクアツク……

キキキ

キキキ

キキキ





やっと
目覚められましたか

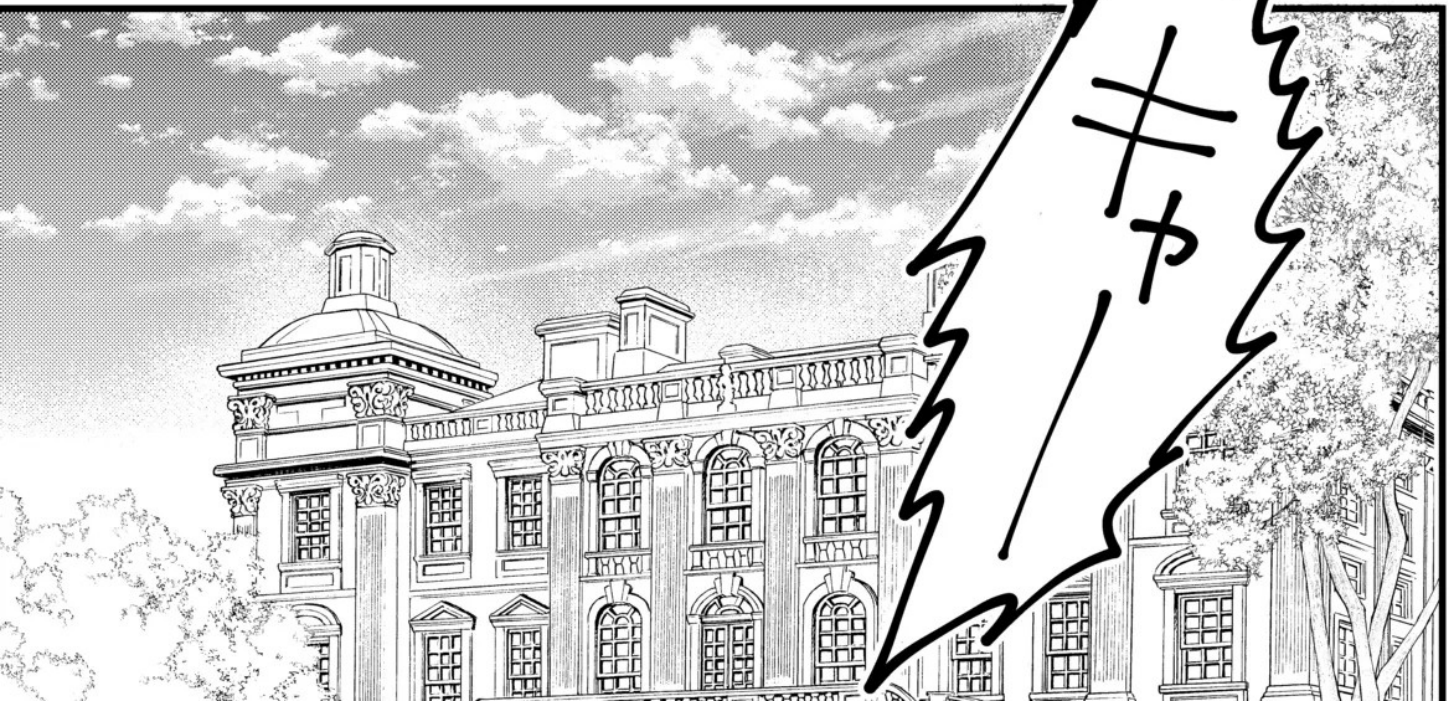


はあ

はあ

はあ

はあ





今朝は申し訳
ごさいませんでした



ヒソ

ヒソ

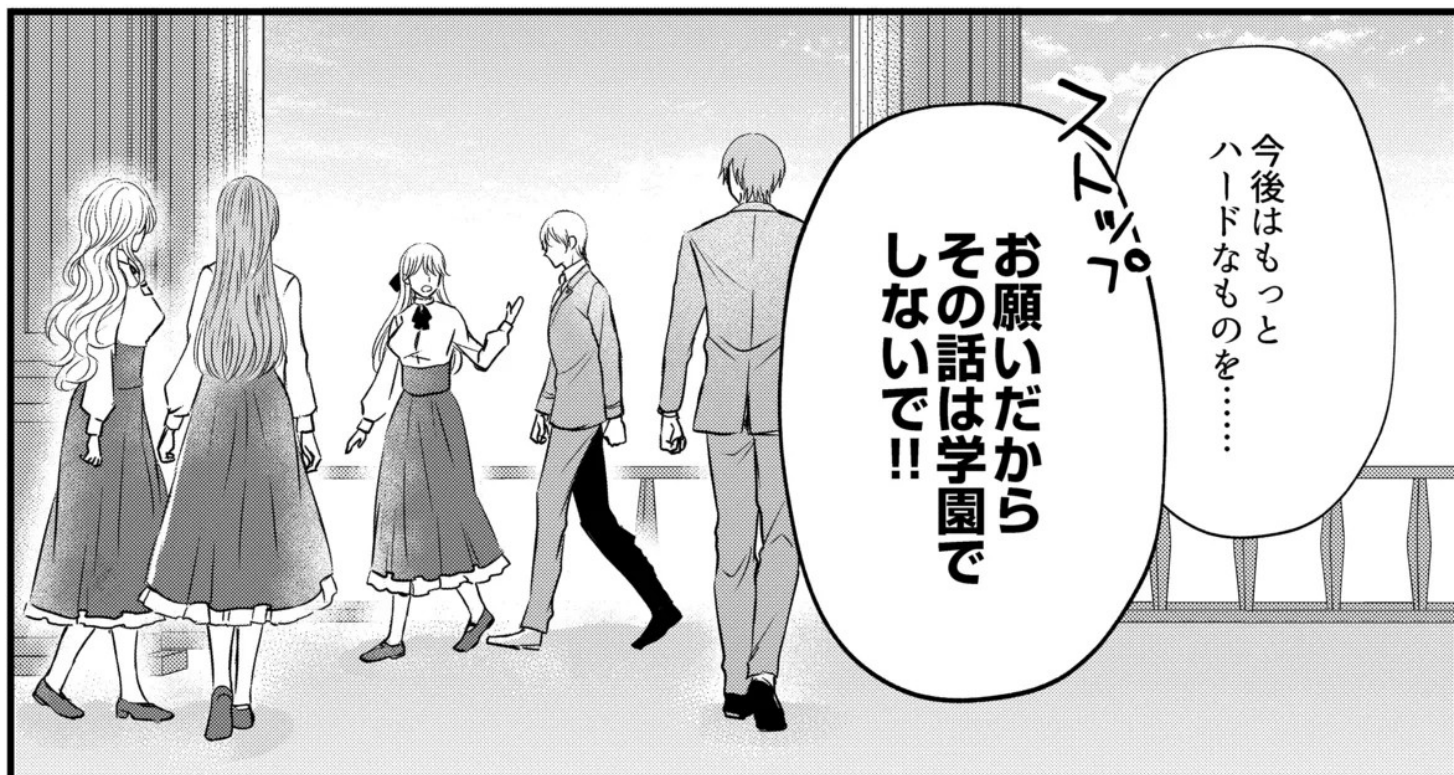
少し工夫を
凝らしてみたのですが
お気に召さなかった
ようです



ヒソ

シルヴィア様が
毎朝起きられないと
おっしゃるので

ヒソ



お願いだから
その話は学園で
しないで!!

ストップ

今後はもつと
ハードなものを……



では続きは

お屋敷で

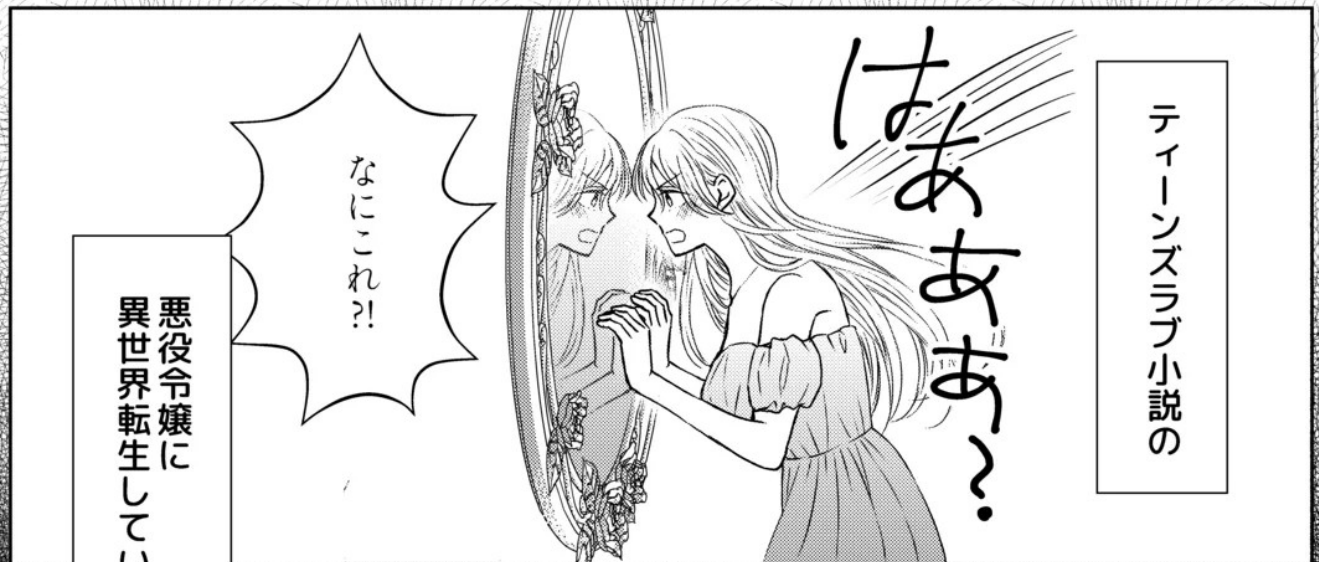


もとい
佐藤あかりは

ぐぬぬ...

イケメン

私シルヴィア・
オベエル...



はあ女あ？

ティーンズラブ小説の

なにこれ?!

悪役令嬢に
異世界転生していた

シルヴィアは
名のある
貴族令嬢で

ほーほっほっ

いつも数人の
イケメン従者を
引き連れ

主人公を見つけると
難癖をつけて
いじめまくっていた

そして
イケメン従者たちと

夜な夜な
酒池肉林の宴を
開いている

とんでもねえ
悪役令嬢なのだ

その従者たちの中で
特にシルヴィアが
お気に入りだったのが

ちい、

今私の後ろにいる
アデン

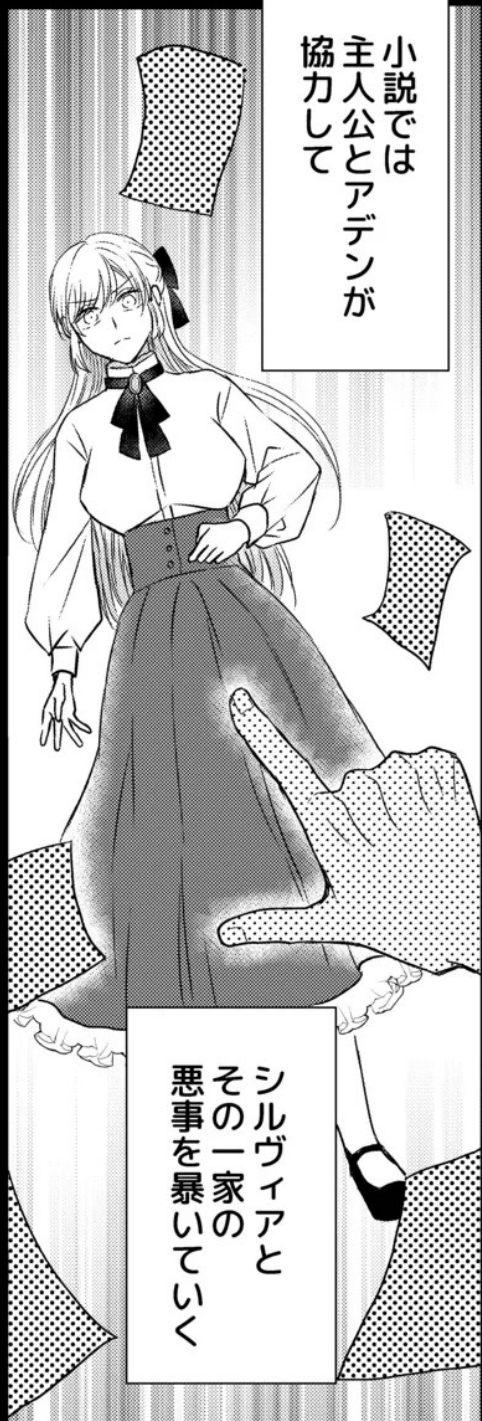
実は彼
この国の
第二王子なのだ



そして
オベル家の
悪事を暴くため

密偵として
秘密裏に行動している

小説では
主人公とアデンが
協力して



シルヴィアと
その一家の
悪事を暴いていく

その過程で
惹かれあった
二人が



結婚するという
ストーリーだ

一方
シルヴィアは

オベエル家が
追放される前日に

アデンに
殺される



大事なことから
もう一度言うが



アデン

シルヴィアは
アデンに
殺されるのだ!!

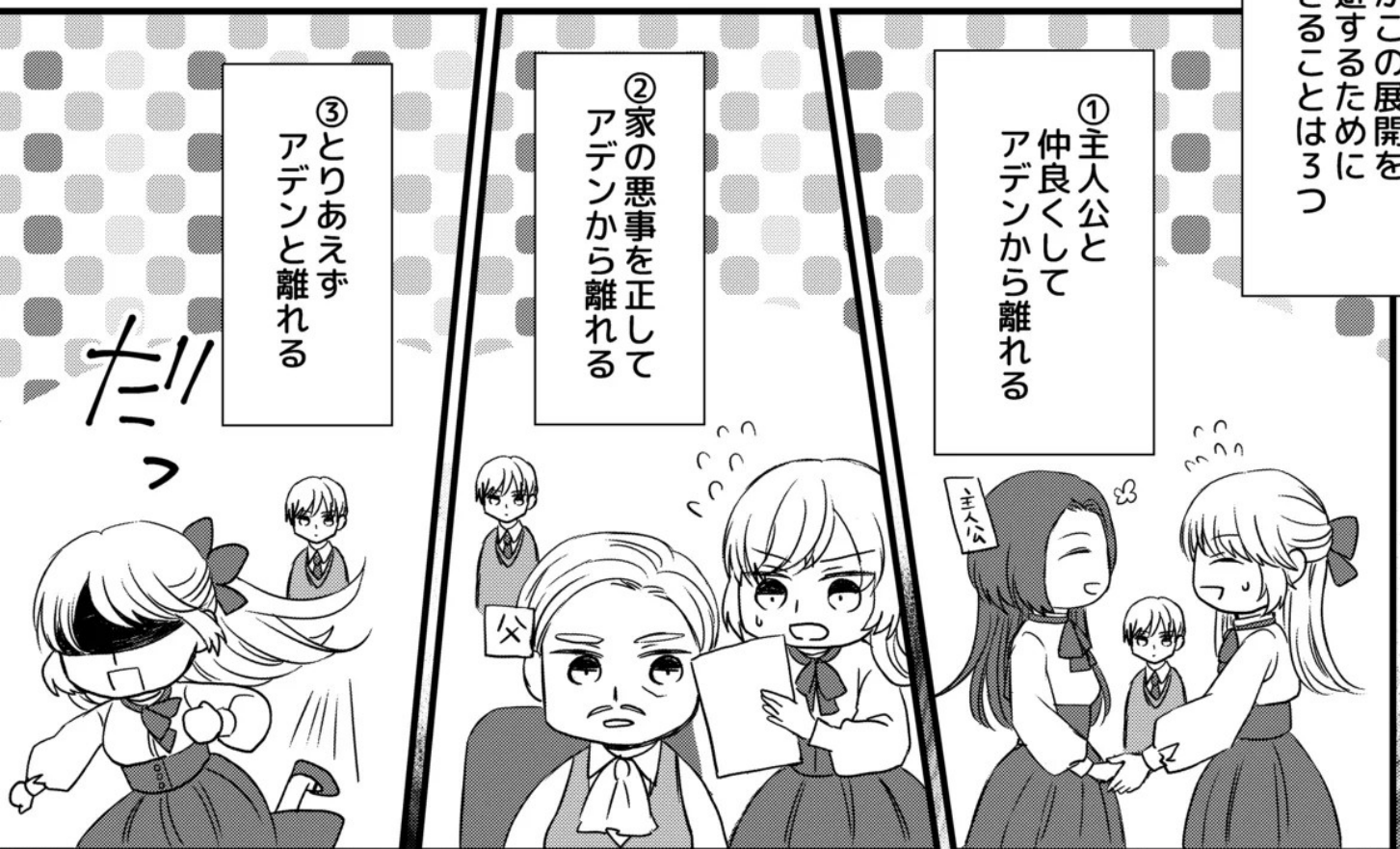


私がこの展開を回避するためにできることは3つ

①主人公と仲良くしてアデンから離れる

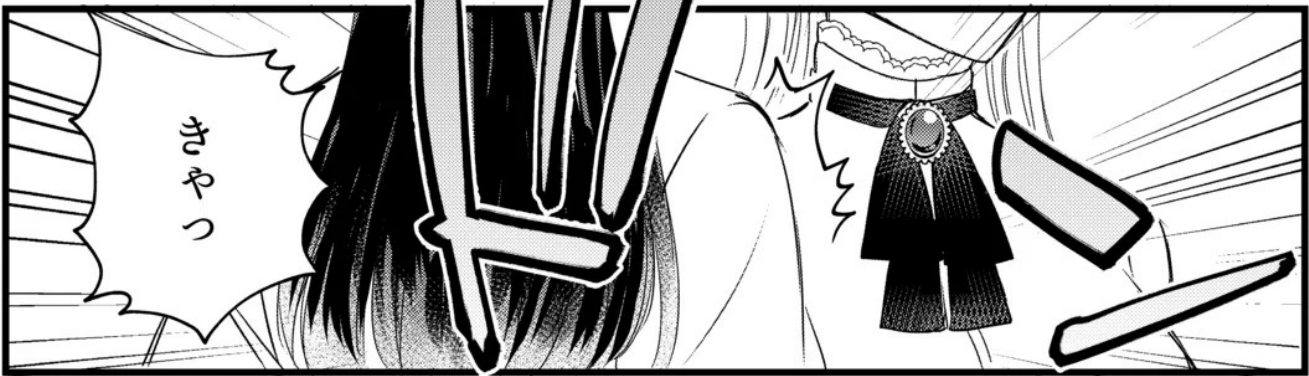
②家の悪事を正してアデンから離れる

③とりあえずアデンと離れる

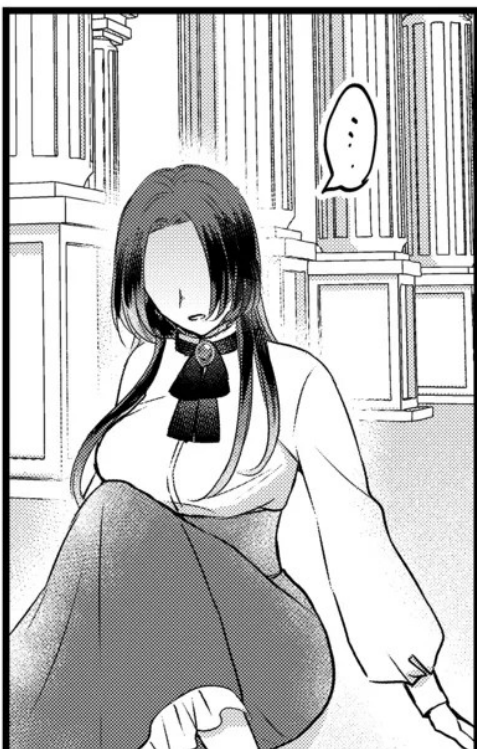


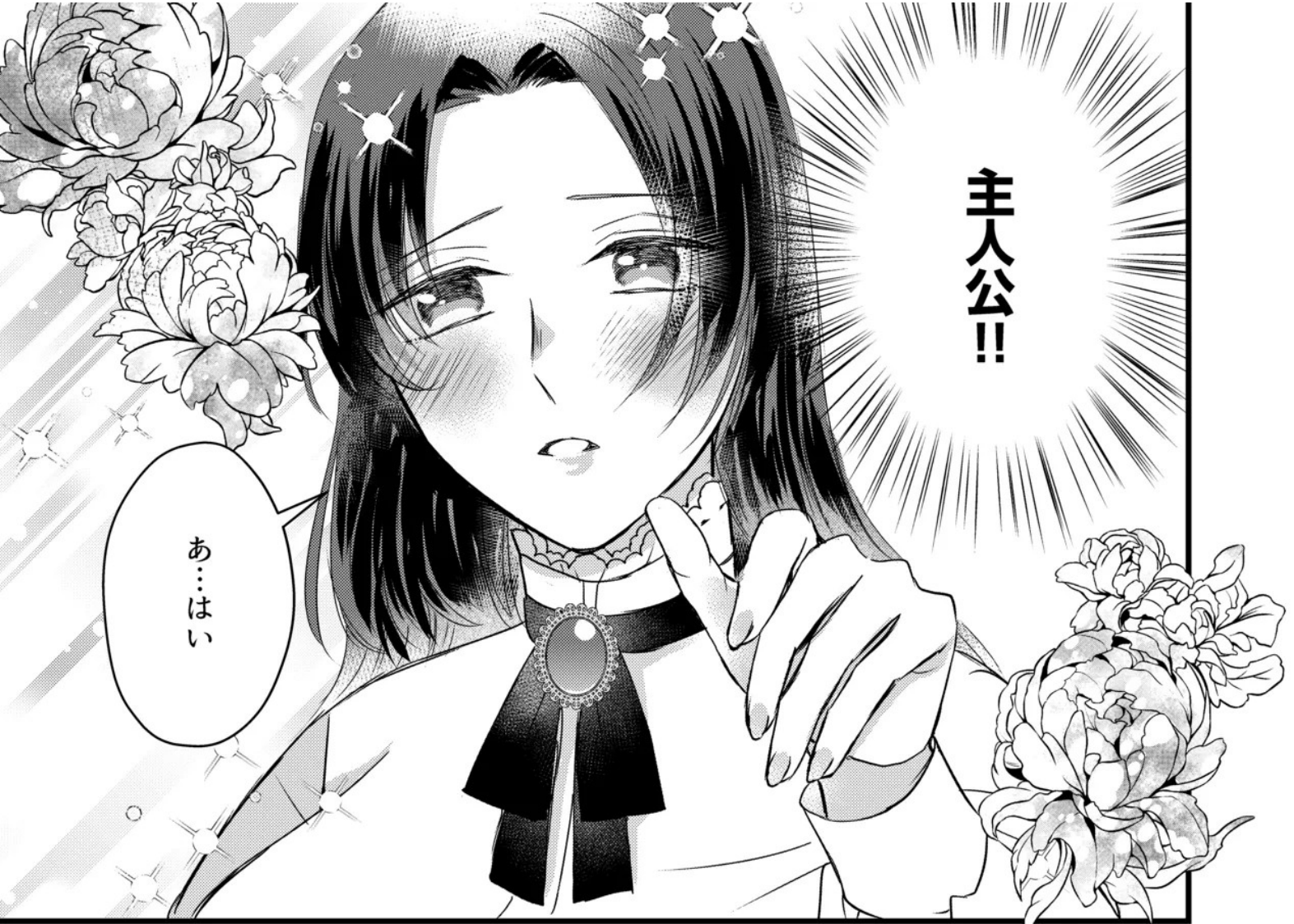


ここまで来れば
大丈夫でしょ



ごめんなさい
大丈夫かしら？





主人公!!

あ…はい



怪我はない？

えっと
ここが…



え？



主人公と
仲良くするって
言ってるそばから!!

ヤバイ
ヤバイ
ヤバイ

本当に大丈夫？

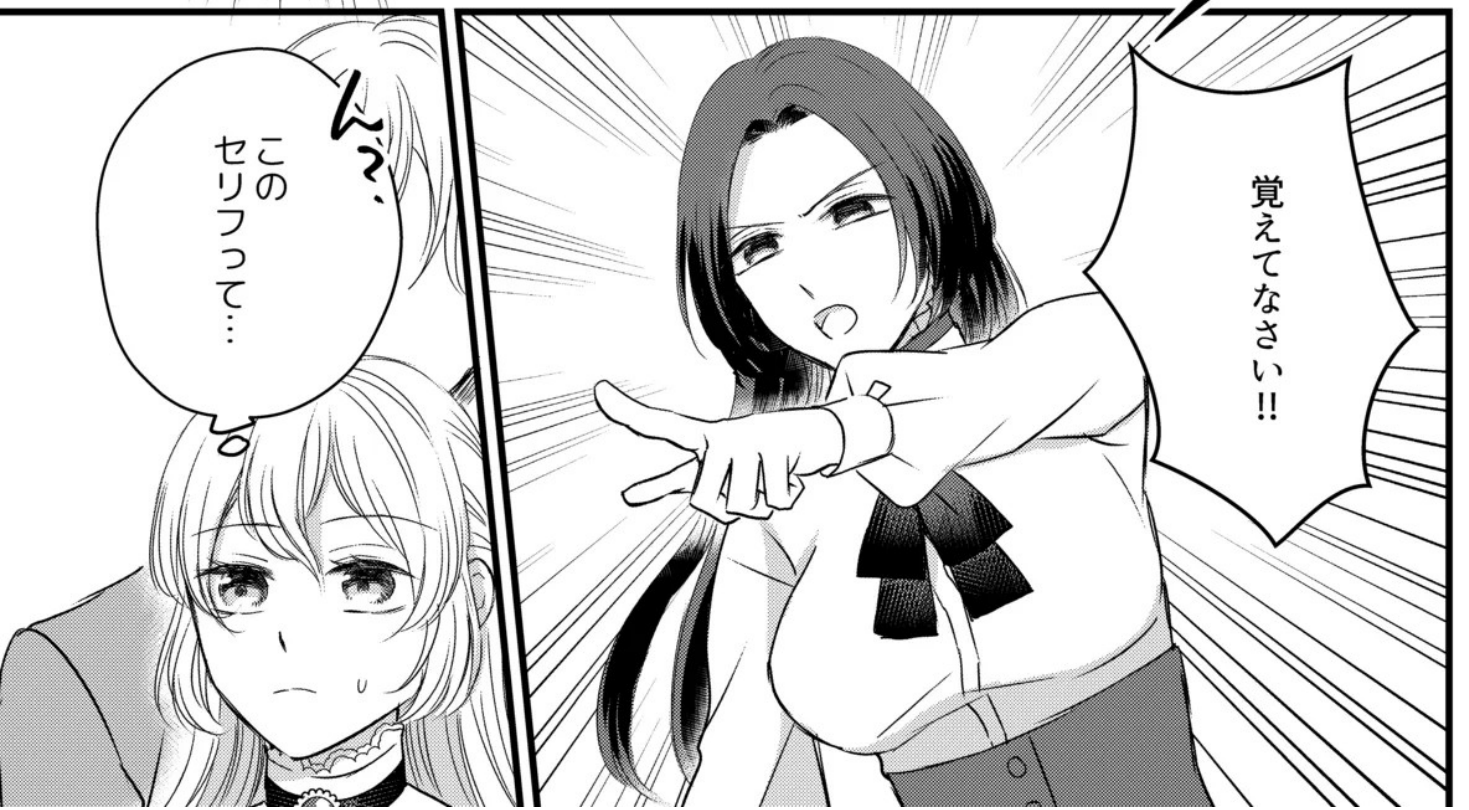




貴様!

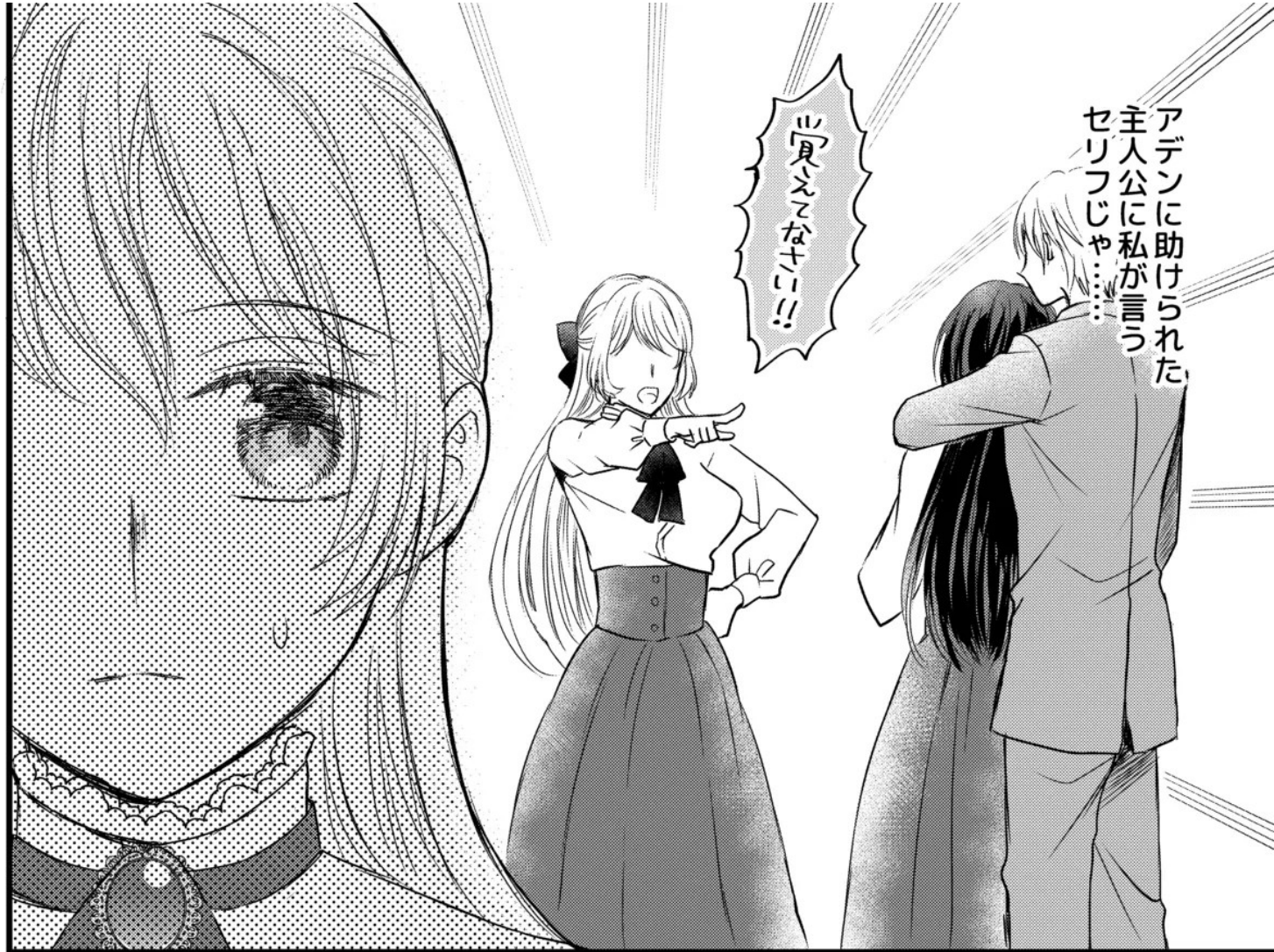
その汚しい手をはなせ!!

アデン!
未来の結婚相手に
なんてことを!!



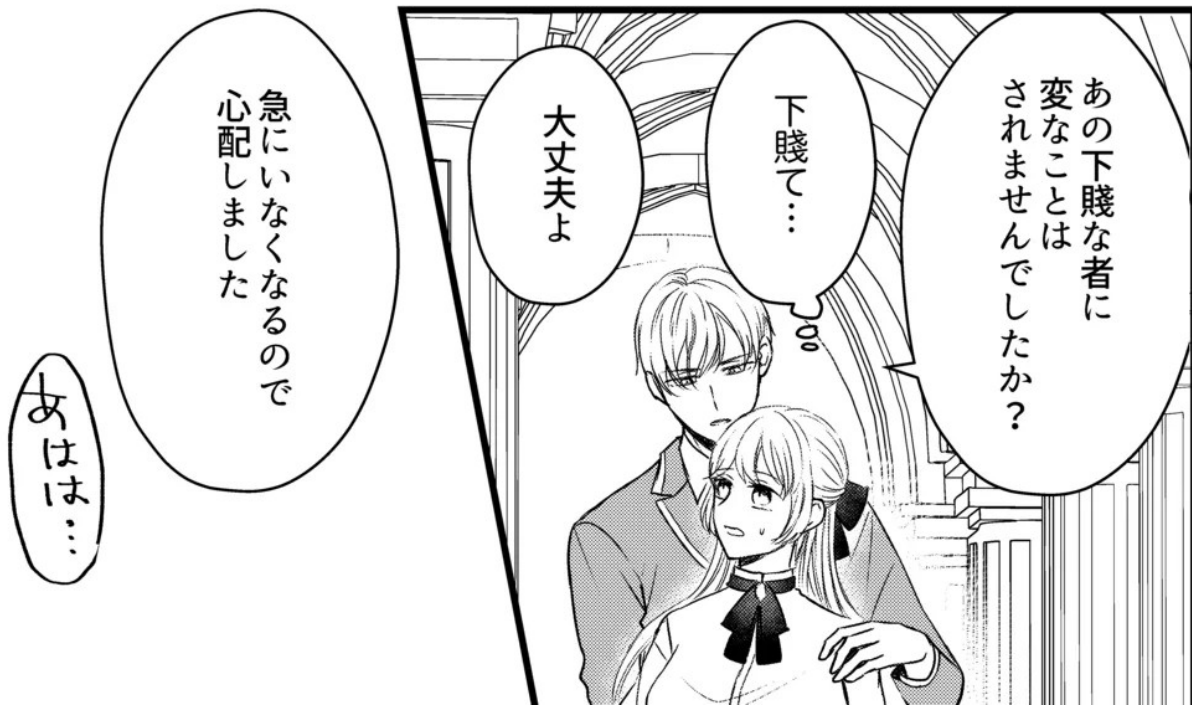
覚えてなさい!!

このセリフって...
ん?..



なんで私が
助けられてんの?!

おかし



あの下賤な者に
変なことは
されませんでしたか?

下賤て…

大丈夫よ

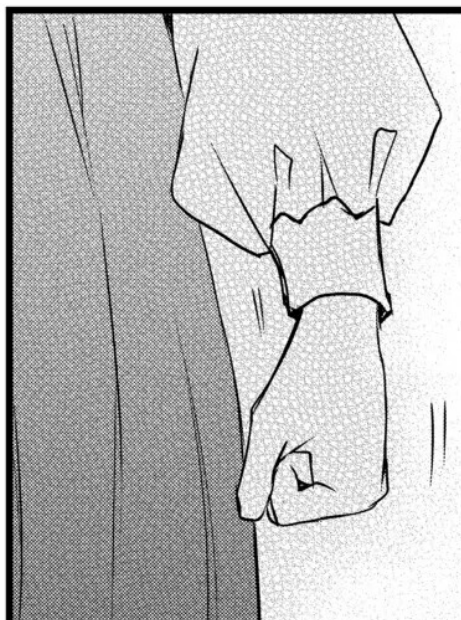
急にいなくなるので
心配しました

あはは…



どこかに
行かれるときは

私を必ず
お連れください



カッ
カッ

今のは社交辞令よ
騙されてはダメ!!





『アデンは必ず復讐すると誓い、』

キリッ



小説ではシルヴィアに
いやいや奉仕
していたし…

アデン
早くして



ああん

……
かしこまりました

シルヴィアの
濡れそぼった花弁に
舌を挿し入れた



そっだ！



手っ取り早く
アデンから
離れる方法
あるじゃない!!

アデン



私の従者を
やめてほしいの

きのみ村
risuo

お手にとってください、
ありがとうございました。
次話はアデンくんが本格的に責めて
くる予定です笑